

会 議 録

1 会議名

令和4年度第4回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

- ・令和4年度地域活動支援事業について（公開）
- ・意見交換会について（公開）

3 開催日時

令和4年6月2日（木）午後6時00分から午後8時50分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 市民活動室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、西田節夫、下鳥治、田中睦夫、庄山健、吉田重夫、長藤豊（一人欠席）
- ・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、米川次長（総務・地域振興グループ長兼務）、一藁次長、関根産業グループ長、市村市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、小池地域振興班長、橋詰主査
（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【米川次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・会議録の確認を吉田委員に依頼。

4「協議」(1) 令和4年度地域活動支援事業について、事務局の説明を求める。

【小池地域振興班長】

- ・資料1 令和4年度地域活動支援事業 採点結果一覧【得点順】により説明。
採択すべきでない事業は1件である。

本日は委員から審査していただくため、委員全員が採点した各審査項目の平均点の合計を出した。なお、各項目の平均点については、各委員の点数を合計し、採点者の数で割った点数の小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までの表記とした。

また、事業提案者に地域協議会委員が含まれる提案は10番の地域に残る偉人の紙芝居作成事業であったので、1名減の13人に採点していただいた。

今回は、採択すべきでない事業から、まず審査し、その後、優先的に採択する事業の得点の上位から審査をお願いします。

委員からは、「採択すべき事業の選定及び採択金額の確認」、「提案団体への地域協議会の意見の取りまとめ」をお願いします。希望額の合計が板倉区の配分額630万円を14万3千円超過している。

【平井会長】

事務局の説明について意見・質問等がある委員の挙手を求める。

(意見なし)

これより、地域活動支援事業の審査を行う。

受付番号9番、高野地区情報整備事業について、不採択としてよろしいか。意見のある委員は挙手を求める。

(意見なし)

不採択とすることでよいか。

(異議なし)

【小池地域振興班長】

この事業について不採択としたが、団体に対して不採択の通知を送付するとき、不採択の理由、意見を付して送付していた。資料1にも採択すべきでないとした理由を書かれている委員がいるが、委員の皆さんから意見を出してまとめていただきたい。

【平井会長】

事務局の説明について意見がある委員の挙手を求める。

【小林委員】

本来であれば町内会で考えて予算化すべきことだと思うが、事前に補助制度について市に相談はあったのか。

【小池地域振興班長】

相談はなかった。

【長藤委員】

私も該当するのであれば、コミュニティ施設の改修等の支援事業に応募しないのかと思った。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

事務局の方で事前に出された意見等整理し回答をお願いしたい。

【小池地域振興班長】

事務局で回答案をまとめるので、会長、副会長から確認いただきたい。

【西田委員】

一つ事務局に確認をさせていただきたい。不採択で残額が出た場合は、今年は1回しか募集せず、追加募集はしないとなっているが、その金は相当の金額になった場合は、板倉区で630万円あるわけだが、皆さんどういう考えか分からないが、これを全額使い切ろうという意思があるのではないか。そうではなくて、これは税金なので、残ったら返納すればいい。残った金額について板倉区で使えるようにといった話はあったか。担当部署から。

【小池地域振興班長】

そのような話はない。

【西田委員】

本来は板倉区に割り振られたのだから、板倉区で残った分は板倉区で使ってほしいという気持ちはある。

去年不採択になった事業がまた提案されている。これはしっかりと論議をしておかないといけない。去年不採択になった事業が出てきているがどういう考えかと、市に確認したが、そうすると何回提案しても良いという話であった。去年不採択にした事業なのに、今年は採択したということになると、ちょっと違うのではないかということが出てくるので、その辺の考えを事務局としてはどう考えているか。

【小池地域振興班長】

今回3事業ほど昨年不採択の団体があるが、昨年は昨年で委員が採点をされて、優先順位をつけてしっかり1つ1つ審査していただいた。配分額に収まらなかったから落とされた事業もあり、再度提案するということは特に問題ないと考えているし、そこは皆さんでもう一度今回採点してもらったので、皆さんで協議し採択、不採択を決められればよいと思う。

【西田委員】

それは承知しているが、昨年不採択になった事業が採択されれば地域協議会は何をやっているのという話が必ず出てくる。去年不採択になった事業が、少しでも内容が変わってきているなら、まだ納得できるがほとんど変わらない。前回是这样だったけど、今回はこういう風になって変わって申請しましたということになれば皆さん納得するのではないか。本来は、市長が言ったのは、今回1回にしたのは来年度のために自主的審議をして欲しいと。今ここで何回も追加募集をしてしまうと時間が掛かってしまう。なので、市長とすれば1回にして、次の段階で議論して欲しいということで1回にしたそう。

【米川次長】

今ほど小池班長からも話をさせていただいたが、昨年の審査の段階で不採択、減額となったものも今年度提案されてきていることは事実だが、昨年と状況も変わっているという中、また、それぞれの視点で委員の皆様方から、この場で1事業ずつしっかり審議をいただければ、それがその結果となると思っているので審議の方を

お願いしたい。

【平井会長】

次に受付番号5番、板倉区の「ゆるキャラ」プロモーション事業について、意見のある委員の挙手を求める。

【西田委員】

本来はこういうものはぬいぐるみを最初に作らないとなかなかはっきりしない。この間中郷に行ったら、ぬいぐるみは10年前に作ってある。というのは、これは商工会で作ったようだ。先を見てやってもらわないと、一番目指すのはぬいぐるみ。これに書いてあるのは、ぬいぐるみの作成には財源が相当かかる。この間の話では、財源は100万円くらいかかるという話だった。これは、振興会だけではなく、全体で、企業も含めて作るような計算をしないといけない。ということで、その辺の話は振興会へしてほしい。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

提案事業への採択額について採決する。申請額80万5千円、満額ということでよろしいか。

(満額とする挙手多数)

板倉区の「ゆるキャラ」プロモーション事業については、採択金額は満額の80万5千円ということで採択すべき事業とする。

次に受付番号10番、地域に残る偉人の紙芝居作成事業について審査を行う。

団体の役員である手塚委員の退出を求める。

(手塚委員退出)

意見のある委員の挙手を求める。

【庄山委員】

謝礼が入っているが、子どもの謝礼について、事業の目的で社会教育の一環として入っているのに、社会教育をしているのに謝礼が無ければいけないのか。あと、朴齋先生に詳しい人への謝礼も入っているが、これも板倉町史を見れば載っているもので特に必要ないと思う。

【小池地域振興班長】

補足させていただく。提案書の支出の部に板倉小学校児童への謝礼6千円文具券となっているが、金券を渡すというのが補助対象外なので、提案があったときに鉛筆等の文具であればいいですよと提案団体へは伝えてある。

【西田委員】

庄山委員が言うように、増村朴斎に詳しい方への謝礼、これは先ほど言ったように板倉町史を見ればよく分かるし、詳しい方への謝礼はいらぬのではないかと思う。

【田中委員】

庄山委員が言われたことも分かるが、提案団体の方ではどのように考えているか詳しいことはヒアリングの時に応答していないわけなので、私は予定どおり満額でいいと思う。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

提案事業への採択額について採決する。満額か、謝礼分の減額か、委員の意見を求める。

【長藤委員】

紙芝居を作ることと、町史にまとめることはだいぶ中身が違ってきている可能性がある。紙芝居を作り上げるにあたって、いろいろな町史に載せなかった話も聞いて、それを盛り込むということも考えられるので、この謝礼は満額お支払いして作っていただくのがいいのではないか。

【小池地域振興班長】

先ほど、子どもへの謝礼は文具に読み替えて欲しいと話したが、増村朴斎に詳しい方への謝礼5千円×2名、これは特別に何か教えていただくといった方への謝礼は補助対象として認められているので、この1万円は現金で払っても差し支えない。提案団体へはその旨を伝えてある。子どもに色を塗ってもらうという部分の謝礼は金券ではなく文具にしてほしいと伝えた。

【平井会長】

謝礼は特に問題ないということである。他にないか。

【庄山委員】

長藤委員が言ったように、増村さんの町史に書いていないような裏話、そういうのが聞けるのであれば差し支えないし、子どもの方もそういう事であればいいかなと思う。

【平井会長】

採決を採る。満額か1万円減額かいずれかに挙手を求める。

(満額とする挙手多数)

それでは満額の16万8千円を採択額とする。

次に受付番号8番、光ヶ原高原再活用事業について、意見のある委員の挙手を求める。

【庄山委員】

去年不採択であり、資料に書いてあるとおり、市が廃止した施設の改修に金を使うのはおかしいのではないかということで不採択になったかと思う。去年ダメだったから今年もダメとするのか、意見を出してもらいたい。

【吉田委員】

確かに不採択となったが、その時の審査の時にまだ施設が廃止になっていなくて、廃止したあと光ヶ原のファン倶楽部の方で管理を引き受けてくれるかどうか調整中であったので、去年の採点の時には結論を出せる状態ではなかった。それで不採択となった。中身がどうこうということではない。

【植木委員】

吉田委員と同じで、去年は停止条件付の採択みたいな形だった。危険性もあるしメインシンボルでもあるので、ぜひ進めていただければと思う。

【西田委員】

こういう審査については、あの時は譲渡とか言っていた。譲渡の場合は、市で全部直してから譲渡する。今まで、寺野保育園もみんなそうだ。そうになると、これはきちんとやっておかないと、去年はこうだからでは済まない。そこらへんは事務局で、譲渡ならば、市できちんと直して譲渡する。今までみんなそうであった。今回は譲渡ではないのか。

【小池地域振興班長】

譲渡ではない。

【一黨次長】

去年も話をしたとおり、光ヶ原高原については譲渡または貸付ということで、去年の話では貸付ということで、光ヶ原高原は廃止ということになっている。今回の屋上展望台については、去年のこの時期に話が出てきたが、まだ光ヶ原高原ファンクラブの方で貸付の状態になるかどうかまだ決定していない状況で今回の話が出てきたもので、市としては光ヶ原高原ファンクラブで受けるかどうか分からないので、もし受けなかったときは直せないので使えませんよという話をしたと思う。今年も、光ヶ原高原ファンクラブの方に貸付ということで、キャンプ場の方は運営されるので、これを光ヶ原高原ファンクラブで直して、無償貸付のかたちで管理してもらうことはいいと事務局の方では判断している。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

提案事業への採択額について採決する。満額でよろしいか。

(満額とする挙手多数)

それでは満額の100万円を採択額とする。

次に受付番号11番、健康ウォークで体力づくり及び山寺三千坊の観光開発に係る事業について、意見のある委員の挙手を求める。

(意見なし)

提案事業への採択額について採決する。満額でよろしいか。

(満額とする挙手多数)

それでは満額の55万円を採択額とする。

次に受付番号2番、棚田ホテル火街道事業について、意見のある委員の挙手を求める。

【庄山委員】

去年の510個、その分の数が出てきてない。2キロで2m間隔だと1,000個でその分の額で申請しているが、去年の510個をどのように考えればいいのか教

えてもらいたい。

【長藤委員】

去年の最初の申請をいくつか見てこなかったが、効果がどの程度あるか分からないからということで個数を減らしたと思う。それを今年度個数を増やし、意外な効果として獣害を避ける効果もあったということで、私はこのまま受けていいのではないかと考える。

【小林委員】

去年の取組については事業効果が薄いと考える。やり方を考えた方がよいのではないか。

【長藤委員】

夜のイベントがないと、普段通る人しか見ない。

【田中委員】

昨年も私は疑問に思っていたし、現場も見に行っただがさほど効果があるようには見えなかった。今年最後の支援事業だから使ってしまうと見受けられるものだから、それを採択する必要はない。昨年の実績を見ても自己満足ではないのか。本当はヒアリングの時に言えばよかった話なのだが、獣害の効果があったというように聞いたが、そんなところで大事な100万円を使う必要はないと思う。

【西田委員】

ヒアリングの時も話をさせてもらったが、去年は土地の所有者への謝礼については無償で貸し付けますという話になった。ライトを畦に付けるわけだからそうすると草刈りするときは一旦抜いて作業をしなくてはならない。所有者が一番苦勞する。草刈りも設置した人がするのならいいが。ライトは半分でよいと考える。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

提案事業への採択額について採決する。

【池田委員】

やはり少し減額してもらいたい。昨年もあまり効果がなかった。税金の垂れ流しではないか。

【平井会長】

具体的には。金額的に。数値的にどうか。

【池田委員】

LEDライトを半分カットしたらどうか。

【吉田委員】

昨年に引き続きの提案だが、昨年減らした分を今年認めるというのはいかがか。

【平井会長】

事務局に確認する。昨年の数は分かるか。

【米川次長】

昨年は850個の申請があり、決定額が510個、差し引き340個分の減額となっている。

【平井会長】

昨年の減額分340個の案が一つと、1,000個の半分に対して500個の2つが出ている。

(個数を500とする挙手多数)

個数は500として決定する。その他、謝礼について0円とすることでいいか。

(異議なし)

【米川次長】

ライトアップ用のソーラーライトは40個そのまま採択でよいか。

【田中委員】

20個でいいのではないか。すべて半数でいいのではないか。

【平井会長】

今の意見で20個でよいか。

(異議なし)

20個で決定とする。事務局に金額の確認を求める。

【米川次長】

支出合計が51万8,923円となる。これは報償費を0円、ライトの方をガーデニング用が500個、ライトアップ用のライトが20個で計算すると先の金額となる。

【小池地域振興班長】

千円以下は自己財源となると、51万8千円が補助対象となる。

【平井会長】

事務局からの説明のとおり、51万8千円とすることでよいか。

(賛成とする挙手多数)

事業者への意見書を付けるということだが、去年の経緯と今回の数字の関係については、審議の結果51万8千円ということとしたい。

次に受付番号6番、芝桜とこいのぼり・春の競演事業について、意見のある委員の挙手を求める。

【庄山委員】

大変悩ましいが、不採択の方が2名いるということで、今までみどりやすらぎグループは7年間活動してこられて、500万円以上の金をつぎ込んで色々と整備されてきたが、私が心配しているのは次年度以降の活動で板倉の観光アピールを行いますとしているが、具体的なことは何も書いていない。ただ情報発信しますとしかなく中途半端な気がする。

【小林委員】

前回のヒアリングの中で提案者の観光振興の考え方には、個人的には違和感を感じた。

質問した中で、全体のやすらぎ荘を含めた観光振興の考え方がどうなのか、全然説得力がなかった。わざわざこいのぼりで他の地域と差別化して効果があるのか疑問がある。もっと考えるべきことは、やすらぎ荘をどういう風に対応していくかという事ではないか。

【池田委員】

春のこいのぼりと芝桜しか、やすらぎ荘周辺の目玉がない。年間を通じて、春夏秋冬と4本柱を作ったらと言ったが、こいのぼりなんてそこら中に吊ってある。誰でもやっている。別にやすらぎ荘の周辺の将来的なことを考えて減額しろと言わないうが、税金の無駄遣いになる気もしないでもない。もう一つ二つ、柱になるものを作ってもらうようお願いしたい。

【下鳥委員】

先般、私達も行って現場を見させてもらったが、ワイヤーを張るときに手動で一生懸命手を痛めワイヤーを張っているわけだが、76万7,800円、これだけでは何とか認めていただけないか。ポール3本、滑車4個、ウインチ4個と付帯設置工事費で76万7,800円ですから76万7千円これを最低限認めていただければ。

【平井会長】

下鳥委員から具体的な金額が出たが、他に意見のある委員は。

【植木委員】

一人の人がものすごく作業に時間がとられるということだったが、作業効率とやすらぎ荘自体に人がいなくて足りないようなので、それで時間が効率よくなるようであれば、まして観光にいいのであればこの金額認めてもいいのではないか。やすらぎ荘自体が年間のスケジュールをしっかりと組んで、拠点にして色々なところに、例えば光ヶ原高原行きましようとかそういうルートをしっかり作ったらよいと思う。私は京都へ5年か10年くらい連続で行っていたが、やはりコースが違ふと色々楽しめるので、そういうのも提案できる。皆さんで協力して考えた方がいいと思う。

【田中委員】

私は産業建設部会の座長を仰せつかっている。ヒアリングの時にも話したが、このみどりやすらぎグループというのは、ヒアリングの時の説明者はやすらぎ荘の支配人だった。やすらぎ荘の考えていることが伝わっていないということで私は憤慨したが、社長とも何回も部会としても意見交換を持たせてもらっている。その辺が全然反映されていないということで、何を考えているのですかということと言いたかった。下鳥委員と植木委員が仰った中身も分かるが、ポール3本を増やすよりも、今ある6本をワイヤー張ってウインチを付けることはいいと思うが、それ以外このぼりを増やしても無駄だし、池田委員が仰るように年間を通してのスケジュールとか客を呼ぶ方策をみどりやすらぎグループもそうだが、やすらぎ荘全体として考えていただきたい。我々部会としても周遊ルートを作ってください、その辺はどうですかと意見具申をしているが、そういうことがこの中に反映されていないということであると、我々部会としてもそうだし、地域協議会としても意見を言っているわけだが、やすらぎ荘には全然反映されないという事であれば、新たな金額をかけ

て増やしたりということは必要ないと私は思う。

【庄山委員】

部会話を聞いてがっかりしたが、田中委員が言ったとおり何も考えていないと。ロープのウインチとワイヤーくらいならいいのではないかと思う。

【植木委員】

余談だが、こいのぼりはいっぱい集まっているらしい。私の知人も寄付した人がいて、こいのぼりに番号を付けて、ここにあなたのがありますよというのを皆さん見に行かれる方が多い。上手に活用すれば泊りに来たり、遊びに来たりされるが、活用の仕方が下手だ。

【長藤委員】

今ほど意見交換でやすらぎ荘どうこうという話があったが、提案者はみどり・やすらぎグループでありやすらぎ荘ではない。あくまでも、設立目的は寺野地区の景観整備及び保全を目的ということで、あじさいや芝桜の管理もやっているとのことなので、やすらぎ荘がみどりやすらぎグループに対してどういう話をしているかわからないが、やすらぎ荘がきちんと動いていないとかそういう話は少し違うのではないかと思う。

【田中委員】

長藤委員が言っていることはそのとおりだが、私が言いたいのは連携が取れていないということが言いたいのである。みどりやすらぎグループとやすらぎ荘というのは繋がっているはず。そのために、今回も支配人がヒアリングに説明に来ている。しかし、やすらぎ荘とは関係ないというような言い方をして、小林委員も言いましたがまず連携がとれていないということと、私らが地域活性化という中での意見交換をしながら意見具申をしているがそれが全然反映されていないということがおかしいと私は言っている。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

提案事業への採択額について採決する。

具体的には、こいのぼりポール設置工事76万7千円だけでいいのではないかと

いう意見があるが。

【長藤委員】

この間下見に回ったときに、実際建物の下の段ボールの中に結構こいのぼりが置いてあった。そういったことも考えると、こいのぼりセットは外していいのではないかな。

【西田委員】

こいのぼりを採択しないのであればポールもいらぬ。ウインチは認めてあげてもいい。

【植木委員】

芝桜こいのぼりの時期にどれくらいのお客さんが来ているのか。

【関根産業G長】

支配人の説明にもあったが、1万人弱の方々が来られていると聞いている。

【平井会長】

植木委員が言われたように、こいのぼりセット16万9,700円が計上されている訳だが、今の大勢としてこれを除いて、こいのぼりポール設置工事として76万7千円という話があるが、在庫としてこいのぼりはどれくらいあるのか。

【植木委員】

何年も経つと結構痛むと思う。在庫はないかもしれない。

【手塚委員】

地元とすれば、今言われるように、ピロティのところに箱の中に入っているこいのぼりは確かにある。ただ実際問題として、数的にどれくらいあるのか私も分からないが、毎年毎年ある程度の期間揚げているので雨風にさらされて傷んだりするので、できることであればこいのぼりも含めて認めていただきたいと思っている。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

採択額について、具体的には満額とこいのぼりポール設置工事76万7千円の2つで採決をとる。

満額とする方の挙手を求める。

(挙手少数)

76万7千円とする方の挙手を求める。

(挙手多数)

それでは76万7千円を採択額とする。資料に記載してあるとおり、こいのぼりの数を競うだけでは意味がないということも、今後のことも含めて書いていただきたい。それから、年間を通してのシンボルとするのはこいのぼりではないということもお願いしたい。将来像を掲げてそれに突き進んで欲しい。いわゆる柱、計画を立てて、計画性を持って欲しい。産業建設部会の座長からも話があったが、何回かやすらぎ荘の幹部と話し合いをしているが、どうも進展がないように思われるということなので、そこは一つ地域協議会として今話したことを文書として記載し、今後の板倉のために、地域のためにということをお願いしたい。

次に受付番号1番、ヨモギ文庫プロジェクト おやこでよみたい郷土絵本～中村十作ものがたり～事業について、意見のある委員の挙手を求める。

【庄山委員】

先日、板倉区総合事務所の休憩室でチラシを見たが、上越市のチラシに偉人の4名の方が名前、写真入りで載っていた。坂口謹一郎、小川未明、前島密、川上善兵衛の方の4名が載っていたが、中村十作はどこにも書いていなかった。みんな知らないのかなとがっかりしたが、名前を売るのも大事だと思う。

【長藤委員】

その他の意見のところに書かれているが、確かに市全体で見るとまだ知られていないと思う。今回これをやっていただくことによって、学校の方に少し広がる可能性が考えられると思う。今のこのままの状態で行くと、宮古島との交流事業というのは板倉だけの事業なので、下手すると今後予算が削られる可能性が出てくると思う。そういったことを考えると、市内でもっと名前を広げていただいた方がそういったことに繋がらないのではないかと思う。将来的に宮古島交流の予算が切り捨てられないようにということを考えて、このままでいっていただければと思う。

【手塚委員】

寺野玉手箱グループでも、4年前に紙芝居を作って、それを宮古島の小学校で授業の一環として取り組んでもらっているということで作ってよかったなと思って

いる。こういう表現は紙芝居であれ絵本であれいろいろなかたちでいいと思うので、こういうかたちで作ってもらって、長藤委員が言われたように、色々な面で交流を長く続けるようなそういうようなかたちが取ればいいと考えているので、ぜひこれは採択していただきたい。

【西田委員】

反対するわけではないが、皆さんもらったこのヨモギ文庫を家に帰ってよく見たが、ヨモギ文庫復活プロジェクトになっていて、検索してみたが、これは地域活動支援事業を使ってやったのではない。2020年3月、3業者集めて、企業、団体、個人を集めて128万4千円集まったそうだ。それくらいの規模の活動をしている。ヨモギというのは昔から、我々小学校時代宿題として、ヨモギを宿題として持って行った。今は時代が違うので、このヨモギについて検索すると色々なことが書いてある。この団体の構成員には板倉の人は何人いるのかと事務局に聞いたが、板倉からは一人という話だった。一人いれば、なぜその人が申請しなかったのかなというように思う。他の区の人が申請をしてくるのはちょっと違うというように思う。中村十作については、手塚委員が話をしたとおり、やることはきちんとやってもらいたい。板倉の人がいれば板倉の人が先頭になって中村十作をまとめてもらいたいと思っている。

【下鳥委員】

この中で宮古島に行って人頭石を見た方はいるか。宮古島の中村十作は神様というような存在である。私たちがあまりにも中村十作という人を知らなすぎる。ですから、何とかこの本を満額回答というかたちで作っていただきたいと思う。

【平井会長】

提案事業への採択額について採決する。

(満額とする挙手多数)

それでは満額の55万円を採択額とする。

次に受付番号7番、「不思議板倉郷-山の不思議」事業について、意見のある委員の挙手を求める。

【庄山委員】

その他の理由にも書いてあるが、今までマップを作っていたいたり、今昔説話

集を発行されたりしてこられたと思うが、それが地域に貢献したとは思われない。今回も同じようなかたちで、ましてや不思議となると架空の話になってくるのではという気がするので、そこも少し話が弱いかなという気がする。

【長藤委員】

ネット検索というのは目的を持って検索しないと引っかかってこない。ここに載せられようとしているものをフリーの検索に引っかかってくるかということ、まず考えられない。冊子があってそれを目にした人がそれを手にした方が、効果という意味ではネットでどうこうより返って効果があるのではないかと思う。こういうのはあっていいのではないか。例えば地すべり資料館の中に砂防事務所の方が書かれた冊子があるが、あれを読んでもそのままテレビドラマの台本になりそうな、ものすごく楽しめるものになっている。その存在を知っている方はごくわずかである。こういったものはいろいろな種類のものがいろいろなところに転がって行ってこそ意味があると思うので、こういうかたちのものを作るのはいいのではないかと思う。

【小林委員】

2年前に同じような内容で発行したものがあつたが、どうも目的がサークル的な発想でやっているものだから、発信力が弱い。いくら文化研究会そのもの自体に違和感がある。必要ないのではないかと思う。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

提案事業への採択額について採決する。意見のある委員の挙手を求める。

【田中委員】

金額を意見からしてどう削ればいいのか考えたが、冊子が1,000冊発行となっているが、半分の500冊くらいで採択したらどうか。

【平井会長】

具体的に1,000冊に対し500冊という意見が出たが他の意見はないか。

【長藤委員】

500冊といっても費用が半分になるとは限らない。その辺は注意してもらいた

い。

【平井会長】

長藤委員が言うように、業者の見積もりは1冊410円となっているが、これはあくまで1,000冊に対して単価が410円ということなので、500冊だから半分にはならないという意見であった。

その他意見はあるか。

【吉田委員】

1,000冊で410円の中には、印刷とか製本料、デザインとかのウェイトが非常に大きいので、単純な計算はできないものである。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

提案事業への採択額について採決する。あくまで今回は金額を決めなくてはいけない。今話のあったように、何冊と具体的に半分にするという数字が、具体的には500冊だが、これについては金額が分からない。あくまで金額を決めてその範囲で何冊とするかはいたくら文化研究会の方で数を決めてもらうというかたちになると思う。よって、金額についていくらにするか。

【小池地域振興班長】

半分にするとしても減額には説明がつかないといけない。

【吉田委員】

印刷物の金額で、おそらくどんな金額を出しても説明の理由がつかない。なので0円でいいと思う。

【下鳥委員】

10万円減らして35万1,000円にしたらどうか。

【小池地域振興班長】

10万円減らす理由が説明できない。

【長藤委員】

一昨年は何部作成したのか。

【小池地域振興班長】

1, 000冊と記憶している。もう残部はないと聞いている。

【平井会長】

1, 000冊をどこに配ったのか、その内訳は分かるか。

【小池地域振興班長】

細かい冊数までは確認していないが、学校や、公共施設、Jネット会員のほか、市の中山間地コーナーや板倉ふれあいまつりなどでも配布している。また、前は新聞に取り上げられたことで、総合事務所の方へ取りに来られる方も多数いた。

【平井会長】

前は1, 000部はけたということか。

【小池地域振興班長】

そうである。

【下鳥委員】

先ほどの発言を訂正し満額でお願いしたい。

【平井会長】

採択額を採決する。満額か半額か0か。満額が良いと思う委員の挙手を求める。

(満額とする挙手多数)

では満額とする。

次に受付番号4番、栗沢桜の里づくり事業について、意見のある委員の挙手を求める。

【庄山委員】

ヒアリングの時に話をしたが、砂利を敷く場所が農道とか林道ではなく私道であり、私道に税金を投入していいのか非常に疑問に思っている。また、町内会との意思はどうなっているのか、その辺も心配である。

【長藤委員】

町内会との意思が取れているかとの話だが、あの場所は個人が場所を提供して、それに賛同する方を会員として募ってやっているだけで、町内会との繋がりはない。近隣町内会との繋がりということになるとそのようになる。

私が気になるのは、今回駐車場と遊歩道ということだが、駐車場もすでに一度地域活動支援事業のお金を使って作っているはずだ。その時に砂利を一旦敷いてはず

だが、そこは沈んだりとかそういったことでさらに必要があるということで考えているようであるし、遊歩道が今までやったところなのか新たに作られるのかそこらへんが確認できていないので、そこら辺ははっきりしないが、一度やったところに再度というのが少し気になる。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

提案事業への採択額について採決する。

【庄山委員】

8万2千円で金額としては大したことではないが、どうもしっくりしないので0円でどうか。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

提案事業への採択額について採決する。

(満額、0円とする挙手同数となり採択額は会長判断とする。)

それでは満額の8万2千円を採択額とする。

次に受付番号3番、焼山城址文化遺産を次世代へつなぐ事業について、意見のある委員の挙手を求める。

【庄山委員】

昨年採択しなかったのと同じ内容で出されてきている。現地も行って見てきたが、場所まで遠いかなという気がして、車で行くことは出来るが、問題は行ったときにいいところへ来たなどは感じない。残念ながら。林の中にあるという感じで、なかなか見晴らしもそんなに見るところがない。ということで、整備してもいいのかなというのが大きな疑問として残っている。

【池田委員】

私は必要性が低いのではと思って採点した。狼煙上げの関連でやっていたのかなと思って、最近狼煙上げが上越各地で上げるのが減ってきたと言っていたが、だいたい狼煙上げの台が違うところにあると聞いた。それともう一つ文化的な価値が無

いのではと思っているので不採択か減額してもらいたい。

【長藤委員】

私は逆の意見で、山城というものはだいたいあのようなものだと思う。昔から手を加えてきたというところでない限りはあのようなものだと思うし、今の狼煙上げに関しても狼煙を上げる会というものがやっているわけだが、市内でもどんどん狼煙上げの時に対応しない団体が増えてきている中、まだ頑張っている団体もある。狼煙に関しては、箕冠山は今は狼煙上げはしていない。それが非常に残念と思っている。逆にそれを一生懸命やっているのを補助を認めてあげたいと思っている。

【小林委員】

今の意見に賛成だが、山城としての今更振興策でやったところでそこまで期待できないと思う。狼煙上げだけをきちんとやっていくんだよということで、もう少し違う方向に持って行った方がいいと思う。だから、こういう金額でなく、もう少し減額して認めてあげてもいいのかなと思う。

【平井会長】

他に意見はないか。

(意見なし)

提案事業への採択額について採決する。数字的には出てないが減額という話がある。いくら減額とするか。

【庄山委員】

雑木払いの15万4千円を削って、あとは認めてあげてもいいのではないかなと思う。

【平井会長】

他に意見はないか。

【植木委員】

あの場所は少しイメージが暗すぎて、ちょっと奥まっけていて、もう少しきれいにしないとまずいと思う。熊も出るとのことであそこは皆さん畑をやめているような場所である。そんな状況の中で今後どのように進めていくか興味があるが、パンフレットも先ほど1,000部でも揉めていたのに今2,500部と書いてあるが、

ここ揉めないのだなと聞いていた。あの場所をきれいにされて狼煙上げの準備ということかどうか。私も地元に住んできたが、あそこが歴史のある場所だということを知りながら、地元の方も知らないのではないか。

【庄山委員】

パンフレットの2,500部はヒアリングの時に聞いたが、10年間使うということで2,500部にすると聞いた。これは2,500部必要なのだなと思って聞いていたが、あとは問題の場所がちょっと知名度もなく、来年以降どうするのかというのも何も書いてなくて、どういう風にしたいのかが分からない。ビジョンがないのが残念。

【長藤委員】

資料の写真を見ると、現状でもあの場所に小学生等が行って説明されている様子があるし、伐採の方は見積もりを見ると、切ったあとの雑木はどうするのか分からない。そういった意味でも、雑木の刈り払いを外して考えていいのではないかな。

【池田委員】

伐採の費用を減額してもらえばいいのではないかな。狼煙台の方は、私は一回も見に行ったことはないが、そちらを整備してもらった方がいいのではないかな。

【平井会長】

他に意見はないかな。雑木の刈り払い分を減額でいいかな。

【小池地域振興班長】

今回の刈り払いはヤマツツジの生育を良くするという目的があったと思うが、この費用を減額する理由としたらどういったことになるのか。刈り払いはしなくてよいということなのか。それともボランティアでやってくださいということなのか。採決はこの後だが、その辺の理由をまとめてもらいたい。

【平井会長】

提案の内容には雑木刈り払いという項目が載っているが、ここで具体的に金額が15万4千円載っているわけだが、この項目がなくなると、業者に払う金がないわけだが、地域の皆さんでというようなかたちになるのかどうか。それならそれで、申請者の方に理由を説明しなければいけないということになる。

【庄山委員】

雑木払いをどうしてもしたいのであれば、ボランティアでやってもらうのでいいのではないかと思う。あとは団体の考え方だ。

【平井会長】

今ほど話があったとおり、15万4千円減額ということになると、その整備については当然ボランティアになるということである。

ほかに意見はないか。

(意見なし)

事務局に金額を確認する。

【米川次長】

刈払い費用を引くと、補助金額は39万3千円となる。

【平井会長】

提案事業への採択額につき満額が39万3千円か採決を行う。

(39万3千円とする方が賛成挙手多数)

それでは39万3千円を採択額とする。

今話があった通り、雑木については地元のボランティアにということをお願いしたいということと、狼煙上げについては、引き続きやっていただきたいということを提案者へ伝えて欲しい。

【小池地域振興班長】

採択額の合計が528万4千円で、残額が101万6千円となる。

【平井会長】

事務局から説明のあったとおり、528万4千円ということで、板倉区の配分額が630万円ですから、引くと101万6千円の残となる。これについては、何回も話すが、次年度以降は地域活動支援事業がない。これは返納というかたちになる。

ただいま審査していただいた結果を、令和4年度地域活動支援事業の審査結果として、地域協議会から市に報告する。また、提案団体へ結果を通知する。

報告書の作成については私と副会長に一任していただいてよろしいか。

(異議なし)

それでは、そのように進めさせていただく。

(1)「令和4年度地域活動支援事業について」は以上とする。

次に（２）意見交換会について、事務局に説明を求める。

【小池班長】

・資料２に基づき説明。

６の意見交換のテーマについては、当日の配布資料の内容も含め、次回６月１７日の地域協議会において検討していただきたい。

７の実施方法の担当委員案については、昨年度４月の地域協議会において提案した内容と同じである。

開催日については明日以降に連協に協力を依頼し、６月１３日ごろまでに日時を報告していただく。その上で、次回１７日の地域協議会で担当委員の最終的な決定を行い、進行係と記録係を決めて欲しい。

本日はこの内容について協議をお願いします。

【平井会長】

事務局の説明に対し、意見のある方は挙手を求める。

【庄山委員】

開催場所で１つの地区が２か所を指定してきたら、２か所ともやるのか。

【平井会長】

連協で１か所ということを進めてもらいたい。

【庄山委員】

一般の人の参加はだめなのか。

【平井会長】

役員等ということになっているので、そういう方がおられれば出てもらっていいのではないかと。

事務局をお願いします。案内を出すときにそのような意見があれば、そのように話をしてほしい。

では、事務局から各地区連絡協議会に連絡をとっていただき、開催日時、会場等について協力依頼をお願いします。

３部会の取組について説明することになったが、各会場でバラバラな内容の説明にならないように、シナリオや配布資料を統一した方がよいと思うので、各部会において準備をお願いします。

次に5「その他」に移る。

事務局から何かあるか。

【小池地域振興班長】

主要事業・プロジェクトの概要の表紙と目次の資料を配布した。今年度から紙ではなくウェブでの公開となるが、冊子で貰いたいという方は事務局の方で印刷するので申し出て欲しい。

上越市まちづくり市民大学のチラシについては、関心のある方は個人で参加して欲しい。

【平井会長】

- ・ 次回の地域協議会の日程等について確認

【古川副会長】

- ・ 挨拶

【米川次長】

以上で、第4回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：0255-78-2141（内線123）

MAIL：itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。